

## 臨床工学室のご紹介

臨床工学室では、医療機器の専門職である「臨床工学技士」が、患者さんの治療が安全に行われるようサポートしています。臨床工学技士は、医療と機械の両方の知識を持ち、病院で使われるさまざまな医療機器の操作や点検、管理を行う国家資格の職種です。

当院の臨床工学室には現在1名の臨床工学技士が所属し、主に人工透析の業務を担当しています。透析は、腎臓の働きが弱くなった方にとって、体の中の老廃物や余分な水分を取り除くために欠かせない大切な治療です。臨床工学技士は、透析の準備・開始、治療中の見守り、終了後の対応、透析装置の点検や部品交換などを行い、安心して透析を受けていただけるよう努めています。

また、透析以外にも、院内で使われているさまざまな医療機器の点検・管理を行っています。たとえば次のような機器です。

- ・人工呼吸器…自分で呼吸することが難しい方の呼吸を助ける装置
- ・シリンジポンプ、輸液ポンプ…薬や水分を、正確な量で送り続ける機械
- ・除細動器…心臓がけいれんしたときに、電気ショックで正常な動きへ戻す装置
- ・ペースメーカー…不整脈のある方の心臓のリズムを整えるための装置



人工呼吸器



透析装置



輸液ポンプ

これらの機器はどれも、患者さんの命を支える大切なものです。臨床工学室では、いつでも安全に使えるよう、定期点検やメンテナンスを行い、万が一のトラブルを防ぐために日々細かな変化にも気を配っています。

臨床工学技士は、普段はあまり目にする機会がないかもしれませんが、「安全な医療を支える縁の下の力持ち」として、医療現場を支えています。

これからも、患者さんやご家族が安心して治療を受けられるよう、医療機器の安全管理に力を尽くしてまいります。